

上越市立図書館 読書週間推薦

こどもの本ブックリスト 2016

～小学生向け～



10月27日～11月9日は
読書週間です

【イラストマークについて】

対象となる年代を、以下のマークで表しています。マークは本の背表紙にはってあります。

- 小学校低学年～ いちご ■小学校中学年～ さくらんぼ ■小学校高学年～ ぶどう
- おはなし・物語ではない本 木

いちご 小学校低学年

交番のヒーロー

如月かずさ/作 田中六大/絵 講談社 2016 317

ナオトは、昔^{むかし}となりにすんでいたママ兄^{にい}ちゃん^{くうせん}と偶然^{ぐうぜん}出会^あいます。かっこよくてやさしかったママ兄^{にい}ちゃんは、おまわりさんになっていたのです。

“おまわりさん”と“刑事^{けいじ}”^{ちが}の違い^{ちが}や、おまわりさん^{にい}の仕事^{しごと}について、お話し^{はなし}を通して^{とお}理解^{りかい}できる^{さつ}1冊^{さつ}です。

へろりのだいふく

たかどのほうこ/作 たかべせいいち/絵 佼成出版社
2003 913 タ



村でコワモテのヤギマロ先生^{せんせい}はお習字^{しゅうじ}の先生^{せんせい}です。実はこっそりみんなが失敗^{しっばい}した紙^{かみ}をごはんに食べていたのです。

ある日、これまでに食べたことのないおいしい紙、へろり紙に出会^あいます。

それがヤギマロ先生の不幸^{ふこう}の始まり^{はじ}だったのです…。

ペットのきんぎょがおならをしたら…？

マイケル・ローゼン/作 トニー・ロス/絵
ないとうふみこ/訳 徳間書店 2016 933 ロ

子犬^{こいぬ}がほしかったエルビーが飼^かうことになったのはきんぎょ。「フワフワ」という名前^{なまえ}をつけて、犬の芸^{げい}をおしえます。とっくんのおかげで、おしりからぷくっとおならのあわをだせるようになりました。「フワフワ」は、たし算^{さん}もできるし、曲^{きょく}のえんそうもおならでしちゃいます。

こんなきんぎょ、あなたもほしくない？！

りすのスージー

ミリアム・ヤング/ぶん アーノルド・ロベル/え
大日本図書 2010 933 ヤ

あばれんぼうのあかりすたちに家をとられてしまったスージー。こまったスージーは、ようやく見^みつけた古^{ふる}い家のやねうらでおもちのへいたいに出会^あい、一緒^{いっしょ}に生活^{せいかつ}をはじめますが、自分^{じぶん}の家に帰^{かえ}りたくて…。はたして、無事^{ぶじ}に自分^{じぶん}の家に帰^{かえ}ることができるのでしょうか。

アーノルド・ロベルのかわいい絵も楽しみながら読^よんでみてください。

いのちをいただく

内田美智子/文 諸江和美/絵 佐藤剛史/監修
西日本新聞社 2009 648 U648

食事とは「命をいただく」こと。いつも食べている食材もはじめから食材だったわけではありません。生きていた命をいただいているのです。

お話は、食肉加工の仕事をしている坂本さんと息子との話を中心に進みます。ぜひ、ご家族で読んでください。

三年一組、春野先生！

くすのきしげのり/作 下平けいすけ/絵 講談社 2016
913ク

担任の先生が入院している間、代わりの先生として3週間だけ3年1組にやってきた春野先生。俊輔は、春野先生と学校生活を過ごしていく中で、何事にも前向きに立ち向かっていくようになります。そして、俊輔たちに起こったミラクルとは…？

とても前向きな気持ちになれる1冊です。

動物の见ている世界

ギョーム・デュプラ/著 渡辺滋人/訳 創元社 2014
481

ネコは夜でも目が見えるけど、赤い色はわからない。ウシは後ろまでよく見えるけど、なぜか正面が見えない。ハチは5つの目でものを見る。ミミズは…何が見えている？

人間にはわからない、ふしぎな動物の世界。

さかさ町

F・エマーソン・アンドリュース/作 ルイス・スロボドキン/絵 岩波書店 2015 933ア

さかさ町にあるものはすべてさかさま。看板に書いてある字も、家もさかさまに建てていて、お店に行けば物はタダなのに、お金がもらえちゃうのです。

リッキーとアンは、このへんてこな町で1日を過ごすことになってしまい…。

ぶどう 小学校高学年

気むずかしやの伯爵夫人

サリー・ガードナー/作絵 村上利佳/訳 偕成社 2007
933カ



5人の人形たちが、ある日突然公園におきざりにされてしまいました。気位の高い伯爵夫人は捨てられたことを絶対に認めず、どうしてもお屋敷に帰ると言い張って、みんなを困らせてしまいます。はたして、伯爵夫人はお屋敷に帰れるのでしょうか？

しずかな日々

椰月美智子/著 講談社 2006 U913ヤ 913ヤ

小学5年生の枝田光輝はおとなしい男の子。クラス替えで友達になった押野との友情、いっしょに暮らす事になった祖父との関係。光輝にとって自分の世界を広げてくれる周囲の人々との日々が描かれています。

空から宝ものが降ってきた！

伊藤親臣/著 旬報社 2016 J501イ 501イ

冬になると、毎日のように見る雪。ついつい“役に立たない”とか“じゃまもの”と思ってしまいますが、そんなことはありません。雪は「使い方しだいで役に立つ“宝もの”なんだよ」と教えてくれます。

雪への見方が変わる素敵な1冊です。

夢は牛のお医者さん

赤羽じゅんこ/著 宮尾和孝/絵 小学館 2016 649
B649

小学3年生のときに学校で牛を飼ったことがきっかけとなり、知美は「獣医師になりたい」という夢をいだきます。夢をかなえるためにたくさんの努力をした知美の姿に心打たれます。旧松代町（現在の十日町市）で育った少女の本当の物語です。